

令和7年度 シラバス

教 科	理科	科 目	地学探究	学 年	第3学年	学 科 類 型	普通科文系
単位数	2 単位	教科書	なし				
副教材	地学学習帳（愛媛県高等学校教育研究会理科部会） ビーライン地学基礎（第一学習社）						

学習目標	地学探究では、地学基礎で学習した内容についてより理解を深め、目的意識を持って実習や実験などを行い、地学を探究する能力と態度を身に付けるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を身に付けます。
------	--

キャリア教育の視点	地学探究では、地学基礎で学習した内容を基に、宇宙や地球に対する総合的な見方や考え方を養います。また実習を通して、身近な自然現象に対する関心や探究心を深め、生活の中で起こる自然現象や自然災害について、正しい知識を持って対応することができます。
-----------	--

		学習計画及び内容		考 査
1 学 期	4月	第1部 活動する地球 経線の長さの比較	地球の形・大きさの測定の仕方について復習します。	中間 考 査
	5月	地震波と地球の内部構造 大陸移動 震央と震源の深さの決定	プレート運動に起因する地震の性質について復習するとともに計算力を身に付けます。	
	6月	P波の初動分布と断層運動 日本付近の震源分布 火成岩の分類	火山活動や火成岩の特徴について復習し、岩石の分類の仕方を学びます。	
	7月	第2部 大気と海洋 日射量の測定 雲の発生モデル実験と過冷却	気象の変化について実習を通して確認します。	
				期末 考 査
2 学 期	8月	海陸風 天気の変化	太陽の活動の様子について復習します。太陽・地球・月の運動について理解します。	中間 考 査
	9月	第3部 移り変わる地球 海水の塩分濃度と緯度別蒸発量の関係	地球温暖化をはじめとする地球規模で起こっている環境問題について復習します。また、日本への影響や自然災害についても学びます。	
	10月	太陽表面の観察 太陽の運動	恒星の進化の過程や時間的なスケール、宇宙の構造について発展的内容まで学習します。	
	11月	地球温暖化 海水面積の変化 海水温とエルニーニョの関係		
	12月	第4部 宇宙の構成 HR図の作成 ハッブルの法則		
				期末 考 査
3 学 期	1月	地学基礎の復習	これまで学習した内容を総合し地学に対する総合的な知識・理解を深めます。	

学習の方法	地学学習帳を活用し、原理・法則を学ぶことで、これまでに学んだ内容を理解し定着させていきます。必ず、自分の力で作業を行ってください。そして更に、問題演習を行っていきます。 また、日々の暮らしの中で起こる自然現象や自然災害に対して、対応する力を身に付けましょう。
-------	--

評価の仕方	下記の(1)～(5)の項目を、評価の観点別(知識・観察や実験の技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)に評価します。各学期の成績はそれらの評価から総合的に判断します。 (1)授業への取組 (2)ノートの記載内容 (3)観察・実験等 (4)教科書・問題集の問題 (5)中間・期末考査
-------	---

備考	
----	--